

青森県医師会 活動報告

「働き方改革における女性医師支援の工夫」

令和6年10月12日（土）

日本医師会女性医師支援・ドクターバンク連携

「北海道・東北ブロック会議」

青森県医師会医師就労環境整備事業

男女共同参画委員会

- ・年2～3回開催
- ・委員：11名
担当役員：4名

ワークライフバランス推進室

- ・旧) 女性医師支援室 (29年度から名称変更)
- ・医師相談窓口担当者1名、担当役員4名
- ・運営会議を月に1回開催
- ・男女共同参画委員会の下部組織として、医師相談の受付、研修病院訪問、ニュースレターの編集等を担う

主な支援事業

復職・再研修支援体制、キャリアアップ支援体制

医師相談窓口のご案内



現役医師がお話を伺います！！

[電話]

受付時間 : 月～金/9:00～17:00
専用フリーダイヤル:0800-800-1400

[メール]

受付時間 : 24時間
e-mailアドレス: ishi-ouen@aomori.med.or.jp

[面談]

電話・メールにてご連絡ください。
日程調整後、県医師会館にて担当医師が対応いたします。



⇐ スマホからホームページに
アクセスできます！



URL: <https://ishi-ouen.com/>

※医師会会員でない先生でも相談できます。

※お預かりした個人情報については、本人に同意なく第三者に開示することはありません。

託児施設設置費用を助成しています

青森県医師会では育児中の医師が研修会・講習会に参加しやすい環境を整備するため、託児施設設置費用を助成しています。

助成内容

- 託児室設置費用 (ホテル部屋代等)
- 育児サポーター費用 (シッター日当等)
- 傷害保険料

対象となる研修会・講演会
青森県医師会が共催、後援するもの
都市医師会が主催、共催、後援するもの

お子様の体調不良などで、託児を当日キャンセルされる場合でも費用をご負担頂くことはありませんので、お気軽にお問合せ下さい。

青森県医師会
017-723-1911

ホームページはこちら
ホームページのフォームから申し込むこともできます。

研修会等での託児室設置補助

令和6年度

申請数：3件（助成数：0件）

対象：県内で開催される研修会及び講習会で、青森県医師会が共催、後援するもの
および、郡市医師会が主催、共催、後援するもの

補助内容：会場に設置した託児室の費用、保育を依頼するサポーターに係る費用
託児を受ける子どもに対する傷害保険料

ワークライフバランス推進室 News Letter

「赤いりんご」

青森県医師会ワークライフバランス推進室 News Letter 第80号 R6.8.15発行

赤いりんご vol.80

夏の暑さが残っておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか？ 7分補給など暑さ対策をしっかりと行いながら、残りの夏を乗り切っていきましょう！



- #### ● 今月号の内容
- 2024年度青森県医師会・弘前大学医学部「男女共同参画セミナー」
 - 臨床研修病院等訪問報告 (八戸市立市民病院)
 - 臨床研修到達度の客観的評価
- #### ● 活動報告
- 6/25 6月ワークライフバランス推進室運営会議
 - 7/3 2024年度青森県医師会・弘前大学医学部「男女共同参画セミナー」
 - 7/23 7月ワークライフバランス推進室運営会議
 - 7/24 第18回男女共同参画委員会

2024年度青森県医師会・弘前大学医学部男女共同参画セミナー

令和6年7月3日(水) 弘前大学医学部学生支援センター2号棟

青森県医師会と弘前大学医学部との共催のもと、男女共同参画セミナーを開催しました。

本会中路副会長の挨拶に続き、工藤常任理事より医師会の活動紹介を行いました。昨年同様セミナーを2部構成とし、第1部は医学科1年生を対象とした「臨床医学入門」の授業として、シンポジスト2名の先生方にお話いただきました。また、第2部ではテーマを「医師の働き方とキャリア形成」として、「さんかくダイアログ」コラボ企画のグループ討議が行われました。第1部、2部合わせて121名の医学生と12名の医師にご出席いただき、盛会裏に終了いたしました。



～今回ご講演いただいた先生方～



弘前大学大学院医学研究科 脳神経科学講座 引地 浩基 先生



弘前大学大学院医学研究科 長谷川 聖子 先生

引地浩基先生より、自身のキャリア形成、育児休暇を實際に取得しての経験談、職場環境からみる育児についてお話しいただきました。

長谷川聖子先生より、自身の医師生活の紹介、女性医師のキャリアデザイン、ライフコースの選択、継続就労のためどのような支援が必要かお話しいただきました。

医師相談窓口のご案内

～青森県委託事業 (医師の働きやすい環境づくりの支援事業)～

青森県医師会では、忙しい医師の皆様のために、各種保育サービスの情報提供や、育児休業制度や復帰などに関する相談を受け付けております。

専用フリーダイヤル: 0800-800-1400
電話受付時間: 月～金 9:00～17:00
FAX: 017-718-3182
E-mailアドレス: ishi-qa@qaonai.med.ac.jp
URL: <https://ishi-qaonai.com/>

●保育サービスの情報提供 ●医師会などの各種相談

●ベビシッターを申したい。 ●育児が一歩進んだので復帰したいが不安。 ●育児休業中や復帰後、心身に不調を感じるには? ●復帰からの急な呼び出し! 子どもの体調が心配! ●育児休業期間中にメール・FAXでお受けします。 ●お預かりした個人情報。 ●ご本人様の同意なく第三者に開示することはありません。

青森県医師会ワークライフバランス推進室 News Letter 第79号 R6.6.15発行

赤いりんご vol.79

本誌でのご感想もほどお寄せがたり、ストーブが必要など下さりありがとうございます。季節の変わり目は気温も湿度も変わりやすいので、皆様体調を崩されませんよう、どうぞご自愛ください。



- #### ● 今月号の内容
- 第18回男女共同参画フォーラム 報告
 - 第3回弘前市医師会・弘前大学医師会 研修医地域医療懇話会 懇話会 報告
 - 日医第7回男女共同参画委員会 報告
- #### ● 活動報告
- 5/23 5月ワークライフバランス推進室運営会議
 - 5/27 青森地域研修医歓迎会
 - 5/30 臨床研修病院等訪問(八戸市立市民病院)

日本医師会第18回男女共同参画フォーラム報告

日時: 令和6年4月27日(土) 14:00～ 場所: JRホテルクレメント名古屋
メインテーマ: 「超高齢化社会に向けた男女共同参画 ～人主100年代における多様な医師の働き方～」

○基調講演1
前青川大学学長 香川大学特任教授 香川大学イノベーションデザイン研究所 所長 野 豊行
医学部における女性医師差別問題、女性医師の歴史を振り返り、日本で女性医師が少ない理由は離職率の高さ、働く環境の整備不足とし、妊娠後復職し、ロールモデルとなった香川大学の女性医師の事例を紹介した。

○基調講演2
ノロダ、イノベーション・ラボ株式会社 代表取締役 展彰 優子
世界初となるIoT型胎児モニターを開発し、フェムテック事業に取り組んでいる。胎児モニタリングが出来ない北海道余市町と小樽市での実証事業が紹介された。遠隔モニタリングにより患者情報を共有することで、地域全体で妊婦を支える取組は、日本だけでなく海外16か所で導入されている。

○シンポジウム
医師法人花田慈恵会在宅医療第二クリニック 院長 西俣 俊孝
少子高齢化が進む中でこれまで以上に重要な役割を担う在宅医療クリニックが取り組むべき事業は言語化、DX、教育であると示し、自院での取り組み事例を紹介された。

香川大学医学部総合診療学講座 講師 石川 かおり
大学病院は教育、研究、診療、地域医療行政の策定、運営等幅広い役割が求められる中で大学病院が医師によって支えられていると指摘した。超高齢社会を迎え、医療も様々な転換を求められる中で大学病院が多様な働き方に対応した魅力的な場所になることで、今後の地域医療の1つのパートナーとなりうると示した。

大内青森県立総合医療センター 院長 大内 満江
63年間眼科医として働いてきた自身の人生を振り返りながら、「困難にぶつかったとき、社会や性差のせいにならない」「社会的・個人的に支援を受けたときは義務と権利のパラドクス」と反省を込めた努力目標を語った。

医師相談窓口のご案内

～青森県委託事業 (医師の働きやすい環境づくり支援事業)～

青森県医師会では、忙しい医師の皆様のために、各種保育サービスの情報提供や、育児休業制度や復帰などに関する相談を受け付けております。

専用フリーダイヤル: 0800-800-1400
電話受付時間: 月～金 9:00～17:00
FAX: 017-718-3182
E-mailアドレス: ishi-qa@qaonai.med.ac.jp
URL: <https://ishi-qaonai.com/>

●保育サービスの情報提供 ●医師会などの各種相談

●ベビシッターを申したい。 ●育児が一歩進んだので復帰したいが不安。 ●育児休業中や復帰後、心身に不調を感じるには? ●復帰からの急な呼び出し! 子どもの体調が心配! ●育児休業期間中にメール・FAXでお受けします。 ●お預かりした個人情報。 ●ご本人様の同意なく第三者に開示することはありません。

青森県医師会ワークライフバランス推進室 News Letter 第78号 R6.4.15発行

赤いりんご vol.78

今年の弘前さくらまつりは、桜の早咲きに対応して開催期間が前倒しされました。年度初の多様な時期ですので、皆様どうぞご自愛下さい。



- #### ● 今月号の内容
- 弘前大学における男女共同参画推進の取組のご紹介
 - 研修医と八戸地域医師との懇話会 (報告)
 - 日医第6回男女共同参画委員会 (報告)
 - 日医第6回男女共同参画委員会 (報告)
 - 令和5年度第2回医師相談窓口担当者連絡会 (報告)
- #### ● 活動報告
- 2/7 研修医と八戸地域医師との懇話会
 - 2/9 日医第6回男女共同参画委員会
 - 2/20 2月「ワークライフバランス推進室」運営会議
 - 2/22 令和5年度第2回医師相談窓口担当者連絡会

弘前大学における男女共同参画推進の取組のご紹介

～男女共同参画推進室専任教員の視点から～

弘前大学男女共同参画推進室助教 山下 梓

弊学は、2009年に男女共同参画推進室を設置し、ワークライフバランス推進を含むさまざまな取組を実施してきました。字面こそ「男女」共同参画ですが、第2期弘前男女共同参画推進基本計画(2016年役員会決定)は、「職員や学生が、性別はもとより、年齢、人種、国籍、宗教、言語、障害、性的傾向、性別自認等を問わずに働きやすく学びやすい環境づくり」に取り組むことを、行動計画の最初に掲げています。社会的障壁、支援ニーズは性別で異なることがありますが、同時に、女性、男性の中にも、年齢、障害、国籍、家族の状況などさまざまな人たちがいます。さらに、ノンバイナリーやXジェンダーなど、男女以外の性別で自身を認識している人たちもいます。実際には、子育てをする男女のカップルだけではなく、車いすユーザーのババ、父子家庭、同性カップル(ババ2人)と子どもも家族を育みました。

学内に広く掲示している男性の育児・介護に関する休職・休業取得を促進するポスターでは、イラストに、子育てをする男女のカップルだけではなく、車いすユーザーのババ、父子家庭、同性カップル(ババ2人)と子どもも家族を育みました。

他にもさまざまな取組を行い、日英2言語で公式X投稿を雇用して研究活動を支援しています。支援希望者が提出する様式の「配偶者」の状況を確認する箇所では、「法律に限定されない」と明記しています。

医師相談窓口のご案内

～青森県委託事業 (医師の働きやすい環境づくり支援事業)～

青森県医師会では、忙しい医師の皆様のために、各種保育サービスの情報提供や、育児休業制度や復帰などに関する相談を受け付けております。

専用フリーダイヤル: 0800-800-1400
電話受付時間: 月～金 9:00～17:00
FAX: 017-718-3182
E-mailアドレス: ishi-qa@qaonai.med.ac.jp
URL: <http://www.aonai.med.ac.jp/qaonai/index.html>

●保育サービスの情報提供 ●医師会などの各種相談

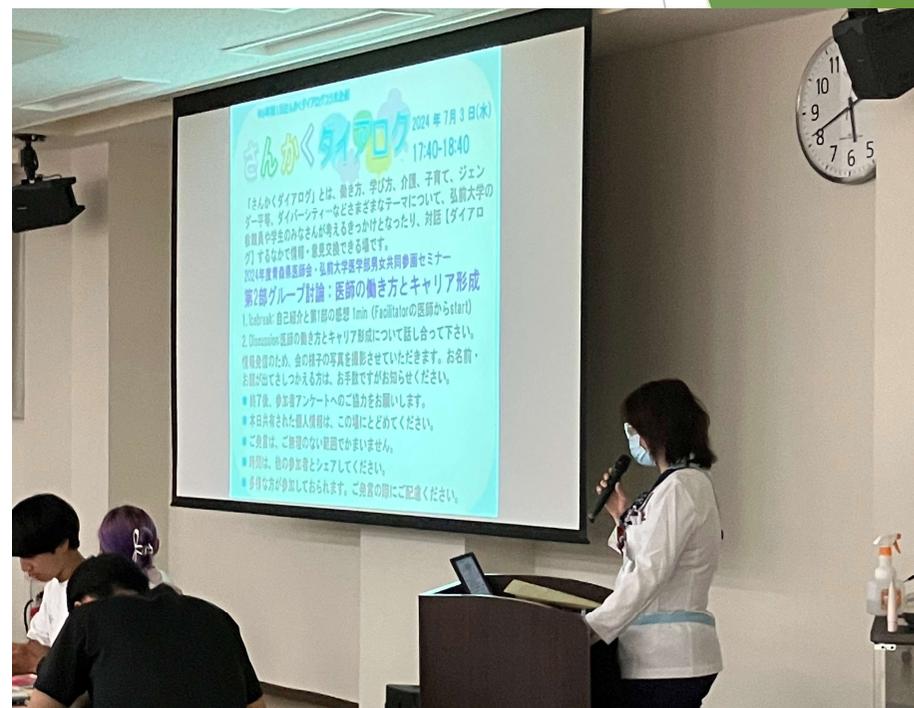
●ベビシッターを申したい。 ●育児が一歩進んだので復帰したいが不安。 ●育児休業中や復帰後、心身に不調を感じるには? ●復帰からの急な呼び出し! 子どもの体調が心配! ●育児休業期間中にメール・FAXでお受けします。 ●お預かりした個人情報。 ●ご本人様の同意なく第三者に開示することはありません。

青森県医師会・弘前大学医学部 男女共同参画セミナー

令和6年度
7月3日（水）開催

開催形態
シンポジウム＋グループ討論

昨年度と同様に、大学の授業の一コマをいただいで開催。



第1部：シンポジウム



弘前大学大学院医学研究科
脳神経内科学講座
引地 浩基 先生

弘前大学大学院医学研究科
救急・災害医学講座
長谷川 聖子 先生



第2部：グループ討論

「医師の働き方とキャリア形成」をテーマとし、各テーブルごとに医学生、研修医、医師など多様な立場のメンバーで情報・意見交換がなされた。

出席者：約133名

医学生 121名

医師(勤務医・開業医、大学教授含む) 12名

他、研修医数名が参加

アンケート結果

- ・男女共同参画への理解が深まった、現役医師と交流できる貴重な場なので参加してよかった等、ポジティブな感想が多かった。
- ・男女共同参画について興味を持てた、考えるきっかけになった等の感想があり、主催した側としても開催する意義を感じることができた。
- ・グループディスカッションについて、グループの人数を減らした方が話しやすいのではないかとの意見があったため、今後検討していきたい。

来年度開催について

○青森県医師会・弘前大学医学部 男女共同参画セミナー

○開催日：検討中

来年度は下記2名のシンポジストからご講演を頂いたのち、グループディスカッションを行う予定。

- ・ **青森県出身、育児中の若手医師（女性を検討中）**
- ・ **他県出身（青森県に進学）、国際貢献、進路選択について**

また「開始時間を早め、全てを講義時間内にできないか」という意見が今年度出された為、検討していきたい。

研修病院訪問

日 時：令和6年5月30日（木）18:00～

訪問場所：八戸市立市民病院

○自己紹介

○医師支援事業の紹介

男女共同参画委員会

ワークライフバランス推進室

女性医師バンク など

○意見交換

テーマ：「キャリアの展望と振り返り」



医師相談窓口受付数 (令和5年度)

○医師相談……41件

相談内容

- ・ 研修医、女性医師の当直について
- ・ 研修医の研修内容について
- ・ 常勤医の勤務内容、休暇取得に関して

医師相談窓口担当者連絡会

○昨年度開催実績

日 時：令和5年5月25日(木)

議 題：『医師に対するメンタルサポートの取組』調査結果について
県内13病院を対象に令和4年10月実施

日 時：令和6年2月22日(木)

議 題：『医師の働き方改革』に関するアンケート調査結果について
令和5年10月追加実施

○今年度開催予定： 9～10月 男性医師の育休取得者との対談
2～3月 勤務医部会と共催で働き方改革等
をテーマに講演頂く

青森県医師会として考える

「働き方改革における女性医師支援の工夫」

- ・ 様々な立場の女性医師(医学生、研修医、臨床医、管理者等)に対し、年齢に関わらず交流、意見交換する場を青森県医師会として用意し、支援を受けやすい環境をつくること